
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第37週
(9月8日～9月14日)

* 2008年9月17日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年9月18日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週		37週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	88	95	66	53	3062	310	19004
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
	鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ		1			5	2	39
	細菌性赤痢	1	2	1	1	43	6	228
	腸管出血性大腸菌感染症	24	21	22	26	291	175	3253
	腸チフス			1	1	8	2	35
	パラチフス					5	1	23
四類	E型肝炎					6		33
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2	1	2	25	6	137
	エキノкокクス症							10
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	2	123
	デング熱	1	1	5		23	3	63
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	52
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							1
マラリア		2	1	2	17		34	
野兔病							4	
ライム病							3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	5	3	2	2	58	27	637	
レプトスピラ症			1		1	1	7	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	6	3	3	136	13	610
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)					23	4	168
	急性脳炎 ***					7	1	138
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11	1	107
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1	18		88
	後天性免疫不全症候群	12	9	8	7	383	26	1070
	ジアルジア症			1		18	2	60
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	3	3	10	3	144	9	588
	破傷風					4	1	85
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					10	1	59
風しん		2			37	1	273	
麻しん	5	5	5	4	1146	17	10774	
2008/9/17集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 53件 肺結核24件、その他29件で、推定感染地は国内52件、ベトナム1件。年齢は5歳未満1件、10歳代1件、20歳代11件、30歳代9件、40歳代6件、50歳代10件、60歳代4件、70歳代4件、80歳代5件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 ソンネで、推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 26件 有症状者16件、無症状病原体保有者10件、血清型・毒素型はO157(VT2) 9件、O157(VT1VT2) 6件、O26(VT1) 4件、O145(VT1) 2件、O121(VT2) 1件、O157(VT1) 1件、O157(毒素型不明) 3件であった。年齢は10歳未満7件(うち5歳未満5件)、10歳代3件、20歳代4件、30歳代6件、40歳代1件、50歳代2件、60歳代1件、70歳代2件であった。O157(VT2)の10歳代1件でHUSの発症があった。O145(VT1)の2件は36週報告患者の同居家族であった。
腸チフス 1件 推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 2件 推定感染地はインドネシア1件、インド1件で、ともに飲食物による経口感染が疑われているが詳細不明である。
マラリア 2件 卵形マラリア1件、熱帯熱マラリア1件で、推定感染地はそれぞれウガンダ、パプアニューギニアであった。
レジオネラ症 2件 とともに肺炎型の男性で、60歳代と70歳代。推定感染地はともに都内で、1件では清掃業における水の取り扱いとの関連が疑われており、他の1件では水系感染が疑われているが詳細不明。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ症2件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は同性間性的接触2件、不明1件であった。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群で、血液から菌が分離・同定されており、感染経路は不明。第3病日に死亡している。
後天性免疫不全症候群 7件 無症候キャリア5件、AIDS 1件、その他1件で、推定感染地は国内6件、不明1件、推定感染経路はすべて性的接触6件(同性間5件、異性間1件)、不明1件であった。
梅毒 3件 早期顕症Ⅱ期1件、無症候梅毒2件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触2件(異性間1件、性別不明1件)、不明1件であった。
麻しん 4件 麻しん(検査診断例)2件、麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢は5歳未満2件、10歳代1件、20歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し1件、1回2件、不明1件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年37週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		34週	35週	36週	37週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	25	12	21	38	0.27	140	150
	咽頭結膜熱	76	71	61	49	0.35		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	83	96	128	126	0.90		
	感染性胃腸炎	426	423	465	477	3.41		
	水痘	32	32	64	53	0.38		
	手足口病	115	119	184	168	1.20		
	伝染性紅斑	13	8	7	9	0.06		
	突発性発しん	94	110	128	114	0.81		
	百日咳	4	6	5	1	0.01		
	ヘルパンギーナ	196	191	180	137	0.98		
	流行性耳下腺炎	90	77	49	65	0.46		
	不明発しん症(注1)	14	7	15	16	0.11		
	MCLS(川崎病)(注1)	1	0	3	0	0.00		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	2	2	4	2	0.01	275	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	3	1	3	0.08	36	39
	流行性角結膜炎	13	18	16	21	0.58		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	2	0	1	0	0.00	21	24
	無菌性髄膜炎	0	1	1	1	0.05		
	マイコプラズマ肺炎	11	8	7	7	0.33		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	1	1	0.05		
2008/9/17集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。過去の同時期と比較して多く、注意が必要である。
- ・手足口病の定点当たり報告数は微減した。第36週にいったん増加したが一時的な変化の可能性はある。

(定点医療機関からのコメント)

中野区保健所管内定点医療機関

- ・咽頭結膜熱患者はアデノウイルス強陽性でした。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	5			2	1			3		1
～11か月	13	1		60	2	14		48		31
1歳	15	5	3	62	11	39		59		35
2歳	2	7	10	48	10	34	1	2		27
3歳	1	6	15	36	10	24	3			13
4歳		10	23	46	8	24				13
5歳	1	5	19	28	4	17	3	1	1	5
6歳		4	11	27	4	8	1			4
7歳		2	10	20	1	3				1
8歳		7	8	18	1	2				2
9歳		2	7	16	1			1		
10～14歳			11	42		1	1			2
15～19歳				13						
20～29歳	1		9	59		2				3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	38	49	126	477	53	168	9	114	1	137
先週比	17	-12	-2	12	-11	-16	2	-14	-4	-43

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1				
～11か月	1	7				
1歳	5	5				
2歳	7					2
3歳	4	1				1
4歳	7	1				1
5歳	9	1				
6歳	10			1		1
7歳	2					
8歳	5					
9歳	5					
10～14歳	5					1
15～19歳	1					1
20～29歳	4			1	1	4
30～39歳						6
40～49歳					1	2
50～59歳					1	2
60～69歳						
70～79歳						
80歳以上						
合計	65	16		2	3	21
先週比	16	1	-3	-2	2	5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2008年37週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		1
20～29歳		1
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		4

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年37週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田						1				
中央区		2	10	1	3	2	2	4		
みなと	4	3	5	14	3	3		5		3
新宿区	2	1	2	7	4	5		3		4
文京	2		5	3		5		1		3
台東	6			25		4	1	1		5
墨田区	4		6	2	2	1		4		2
江東区		1	3	32				3		3
品川区			4	27	2	5		3		5
目黒区			2		1	3		1		1
大田区	15	7	6	41		8		5	1	16
世田谷		1	2	24	3	2	1	4		9
渋谷区				16	1	3		3		
中野区		1	1	34	3	4		2		1
杉並		5	6	35		9		2		1
池袋				2		3				
北区		1	1	9		10		3		11
荒川区		6	1	9	1			1		6
板橋区			1	15	1	6		3		2
練馬区		1	4	10	1	7		4		7
足立	1		3	27	2	2		5		4
葛飾区			3	8	1	9		7		4
江戸川	3	1	18	5	2	10		6		9
八王子市	1	7	7	33	6	6		3		2
西多摩		1	2	6	3	1		5		2
南多摩		1	6	11		8		5		2
町田		3	15	30	10	21	2	15		5
多摩立川		1		15	2	1				1
多摩府中		1		9		24	2	6		1
多摩小平		5	13	27	2	5	1	10		25
島しょ										3
東京都合計	38	49	126	477	53	168	9	114	1	137

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2008年37週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1
みなと						
新宿区	1					2
文京	1					
台東	3					
墨田区						
江東区	3					3
品川区	1	1				
目黒区						
大田区	2					
世田谷	5					
渋谷区	2					
中野区						
杉並	3					1
池袋	2					
北区	3					
荒川区	3					3
板橋区	1	1			1	
練馬区	1					3
足立	5	2			2	2
葛飾区	4	1				
江戸川	5					
八王子市	8	6				2
西多摩						1
南多摩	4					
町田	6	5		2		
多摩立川	1					2
多摩府中	1					
多摩小平						1
島しょ						

東京都合計	65	16	-	2	3	21
-------	----	----	---	---	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		1
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		1
練馬区		1
足立		1
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		4
-------	--	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年37週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田						0.50				
中央区		0.67	3.33	0.33	1.00	0.67	0.67	1.33		
みなと	0.80	0.60	1.00	2.80	0.60	0.60		1.00		0.60
新宿区	0.33	0.17	0.33	1.17	0.67	0.83		0.50		0.67
文京	0.67		1.67	1.00		1.67		0.33		1.00
台東	2.00			8.33		1.33	0.33	0.33		1.67
墨田区	1.33		2.00	0.67	0.67	0.33		1.33		0.67
江東区		0.25	0.75	8.00				0.75		0.75
品川区			0.67	4.50	0.33	0.83		0.50		0.83
目黒区			0.67		0.33	1.00		0.33		0.33
大田区	1.67	0.78	0.67	4.56		0.89		0.56	0.11	1.78
世田谷		0.13	0.25	3.00	0.38	0.25	0.13	0.50		1.13
渋谷区				4.00	0.25	0.75		0.75		
中野区		0.17	0.17	5.67	0.50	0.67		0.33		0.17
杉並		0.83	1.00	5.83		1.50		0.33		0.17
池袋				1.00		1.50				
北区		0.25	0.25	2.25		2.50		0.75		2.75
荒川区		3.00	0.50	4.50	0.50			0.50		3.00
板橋区			0.20	3.00	0.20	1.20		0.60		0.40
練馬区		0.20	0.80	2.00	0.20	1.40		0.80		1.40
足立	0.20		0.60	5.40	0.40	0.40		1.00		0.80
葛飾区			0.75	2.00	0.25	2.25		1.75		1.00
江戸川	0.60	0.20	3.60	1.00	0.40	2.00		1.20		1.80
八王子市	0.33	2.33	2.33	11.00	2.00	2.00		1.00		0.67
西多摩										
南多摩		0.25	1.50	2.75		2.00		1.25		0.50
町田		0.75	3.75	7.50	2.50	5.25	0.50	3.75		1.25
多摩立川		0.17		2.50	0.33	0.17				0.17
多摩府中		0.13		1.13		3.00	0.25	0.75		0.13
多摩小平		0.83	2.17	4.50	0.33	0.83	0.17	1.67		4.17
島しょ										3.00

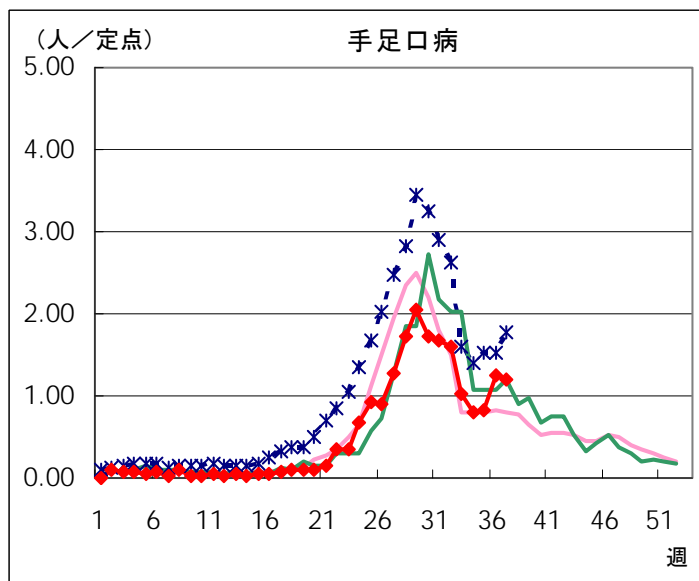
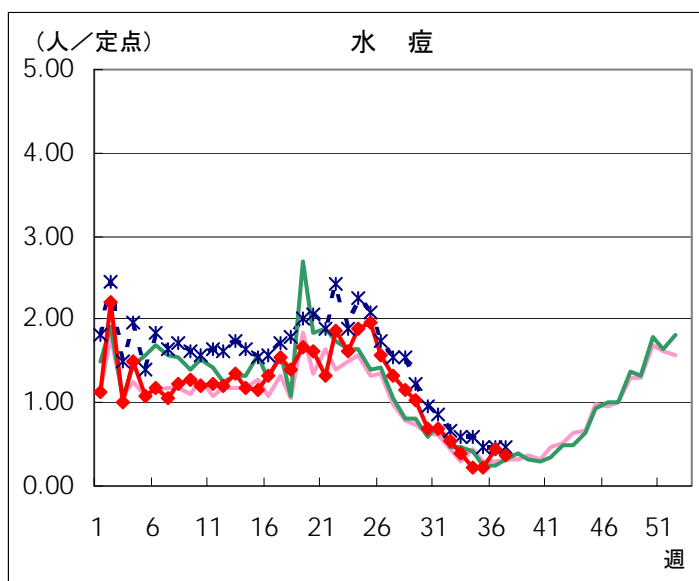
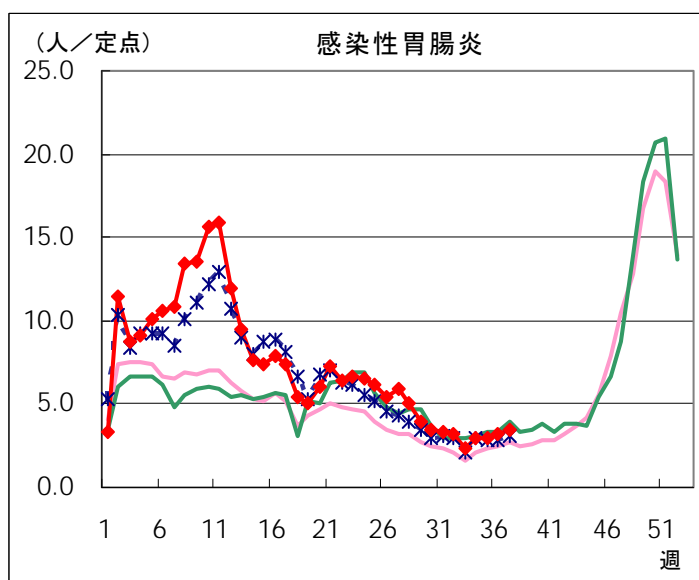
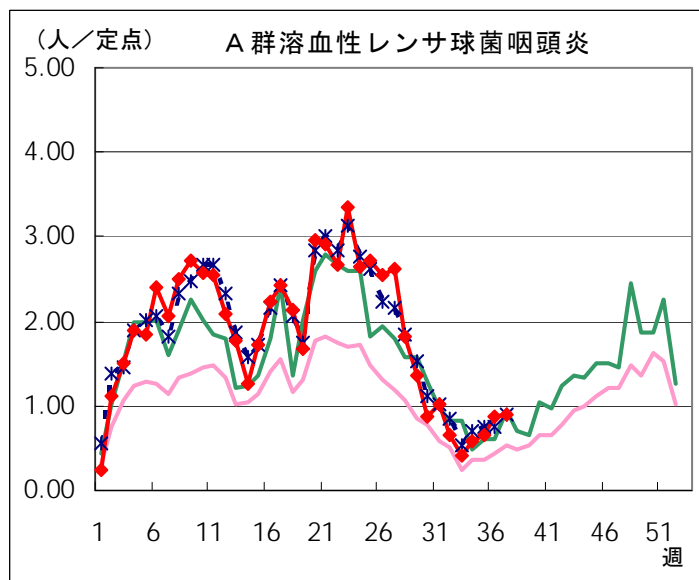
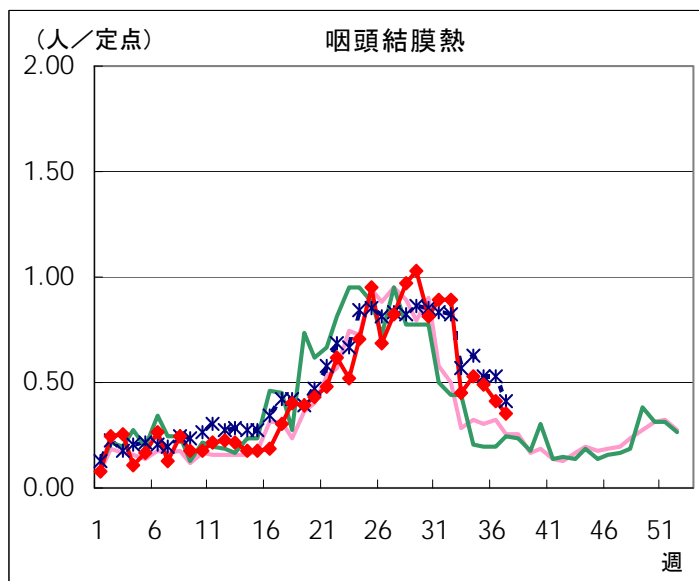
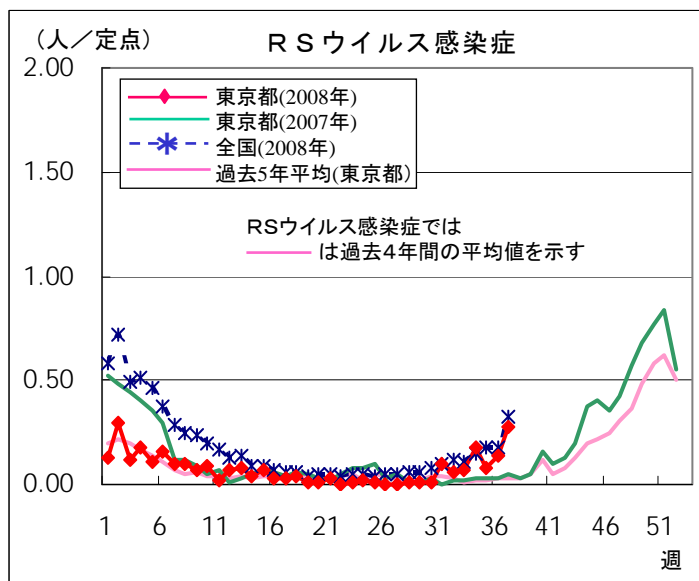
東京都	0.27	0.35	0.90	3.41	0.38	1.20	0.06	0.81	0.01	0.98
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

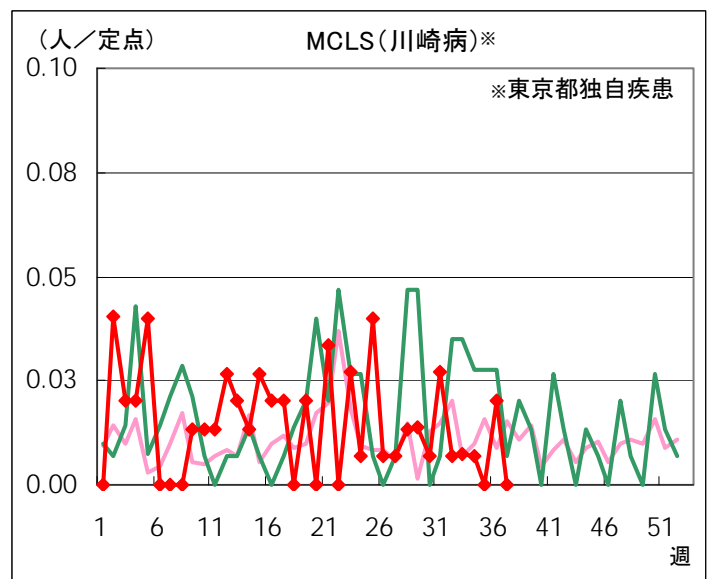
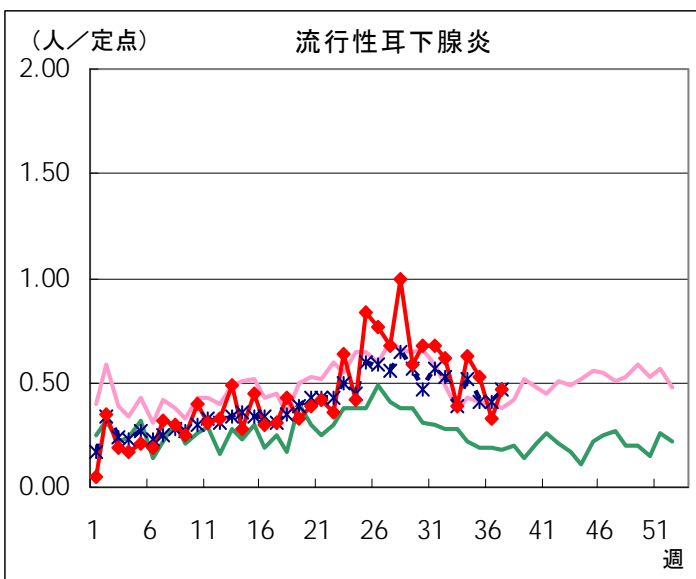
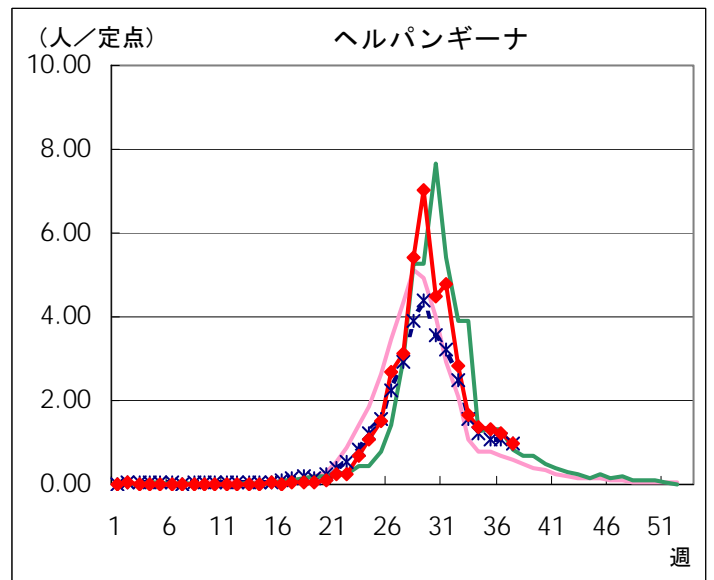
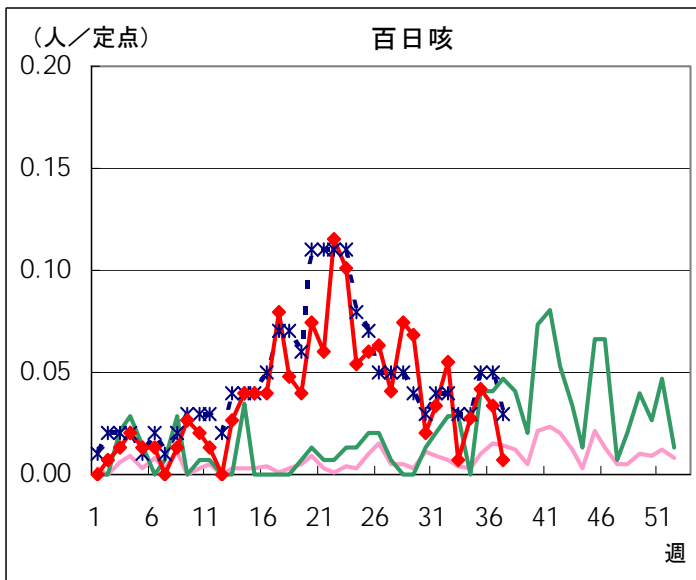
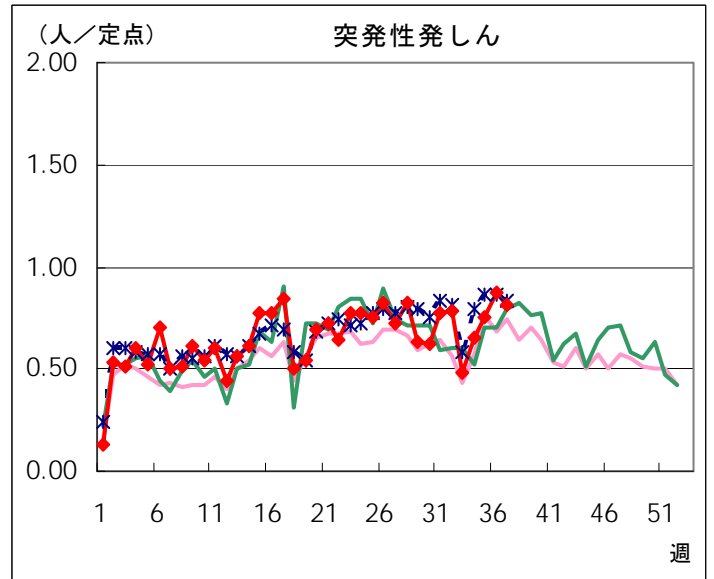
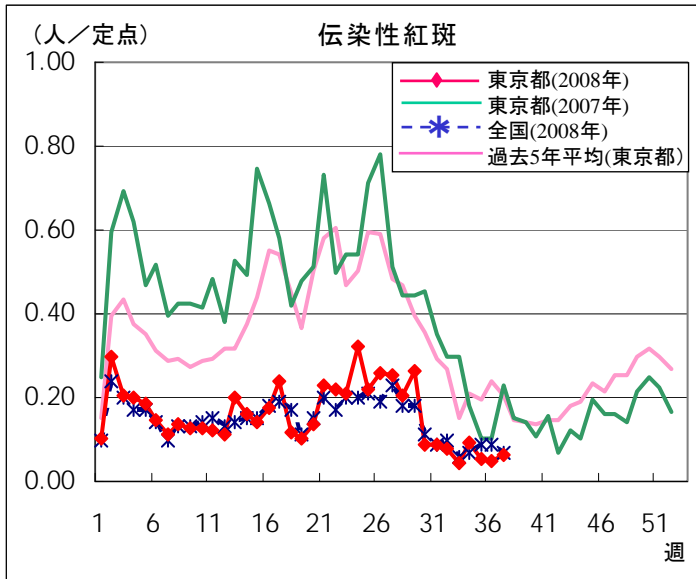
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区						1.00
みなと						
新宿区	0.17					1.00
文京	0.33					
台東	1.00					
墨田区						
江東区	0.75					3.00
品川区	0.17	0.17				
目黒区						
大田区	0.22					
世田谷	0.63					
渋谷区	0.50					
中野区						
杉並	0.50					1.00
池袋	1.00					
北区	0.75					
荒川区	1.50					3.00
板橋区	0.20	0.20			0.50	
練馬区	0.20					1.50
足立	1.00	0.40			1.00	1.00
葛飾区	1.00	0.25				
江戸川	1.00					
八王子市	2.67	2.00				1.00
西多摩						
南多摩	1.00					
町田	1.50	1.25		0.22		
多摩立川	0.17					1.00
多摩府中	0.13					
多摩小平						0.50
島しょ						

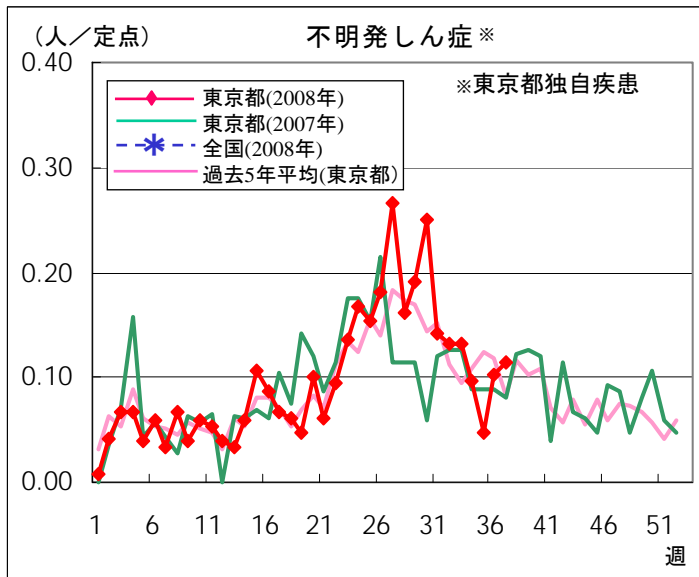
東京都	0.46	0.11	-	0.01	0.08	0.58
-----	------	------	---	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年37週現在

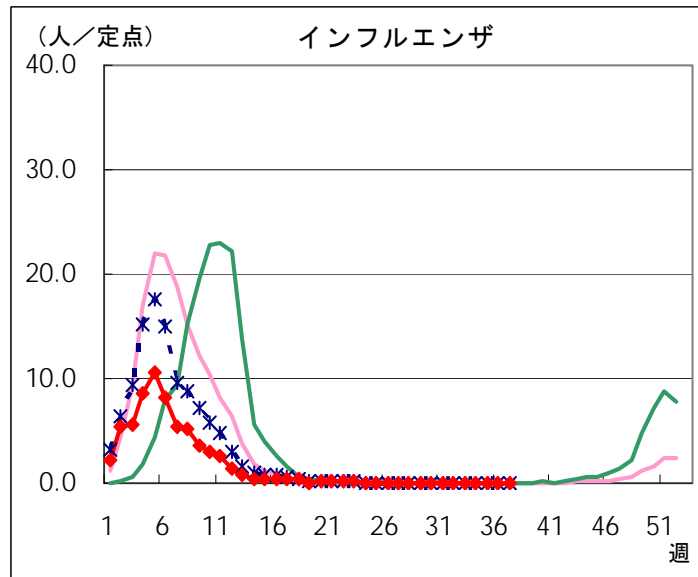
◆ 小児科定点



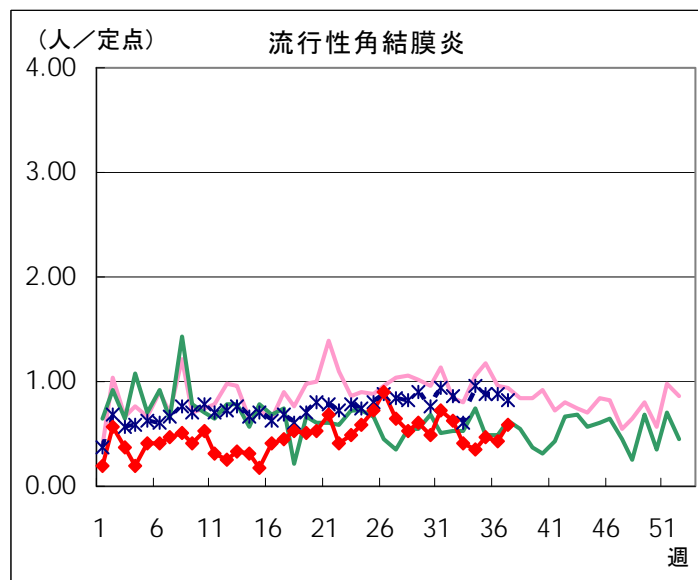
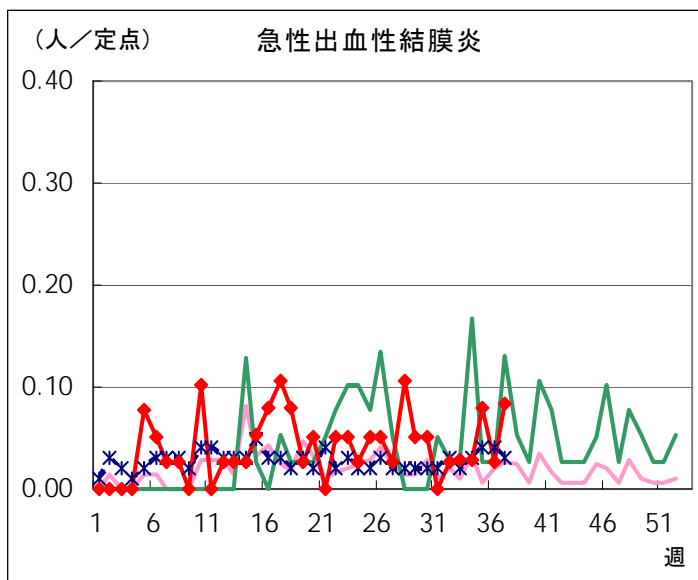




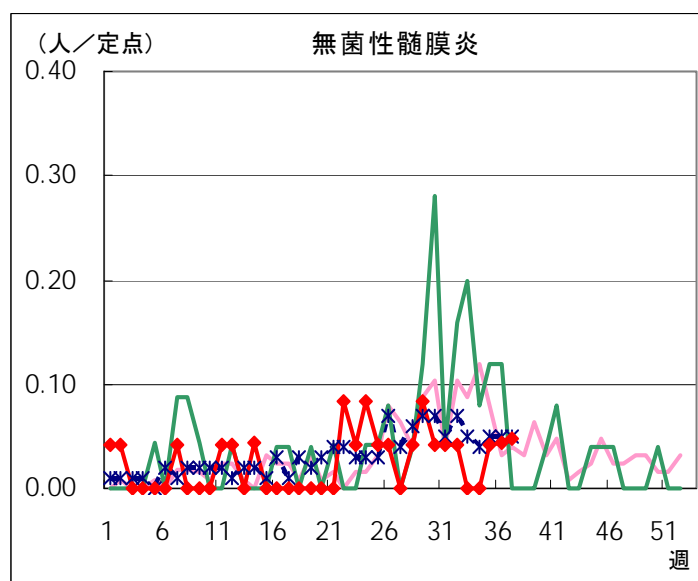
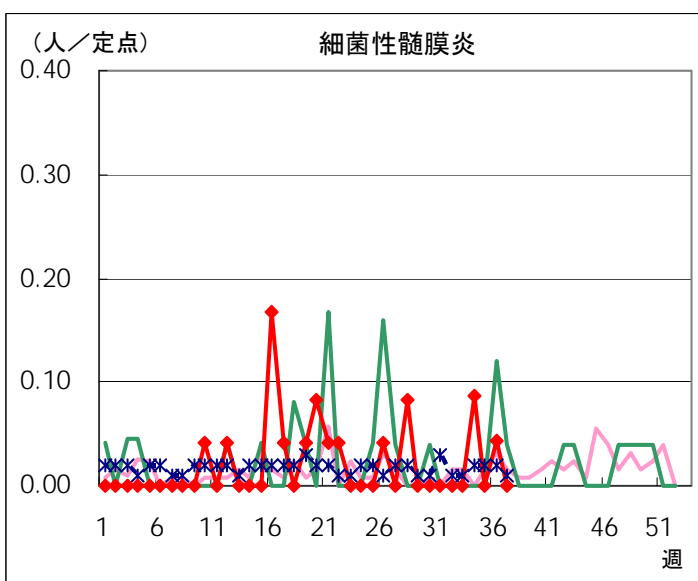
◆ インフルエンザ定点

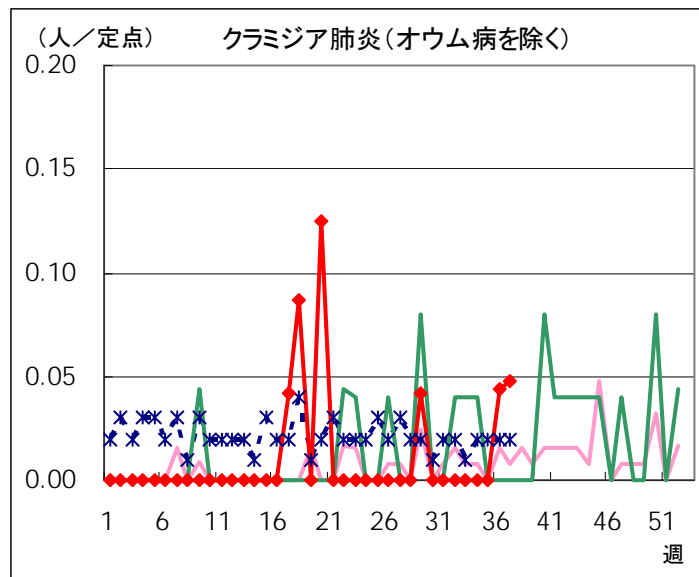
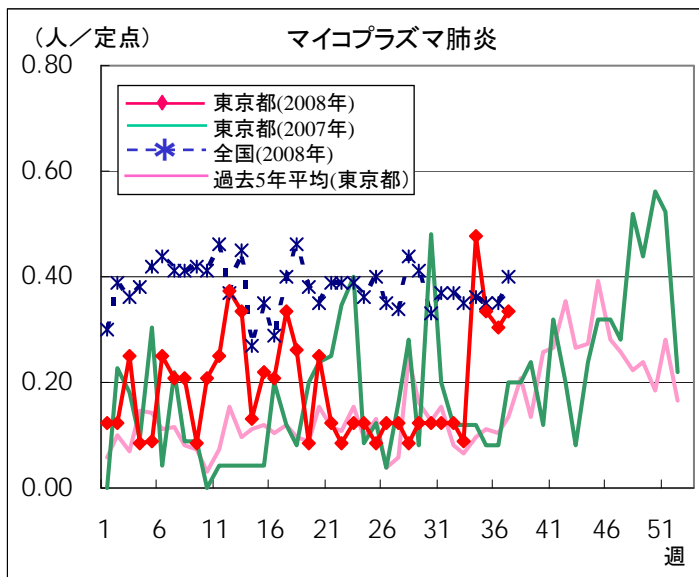


◆ 眼科定点

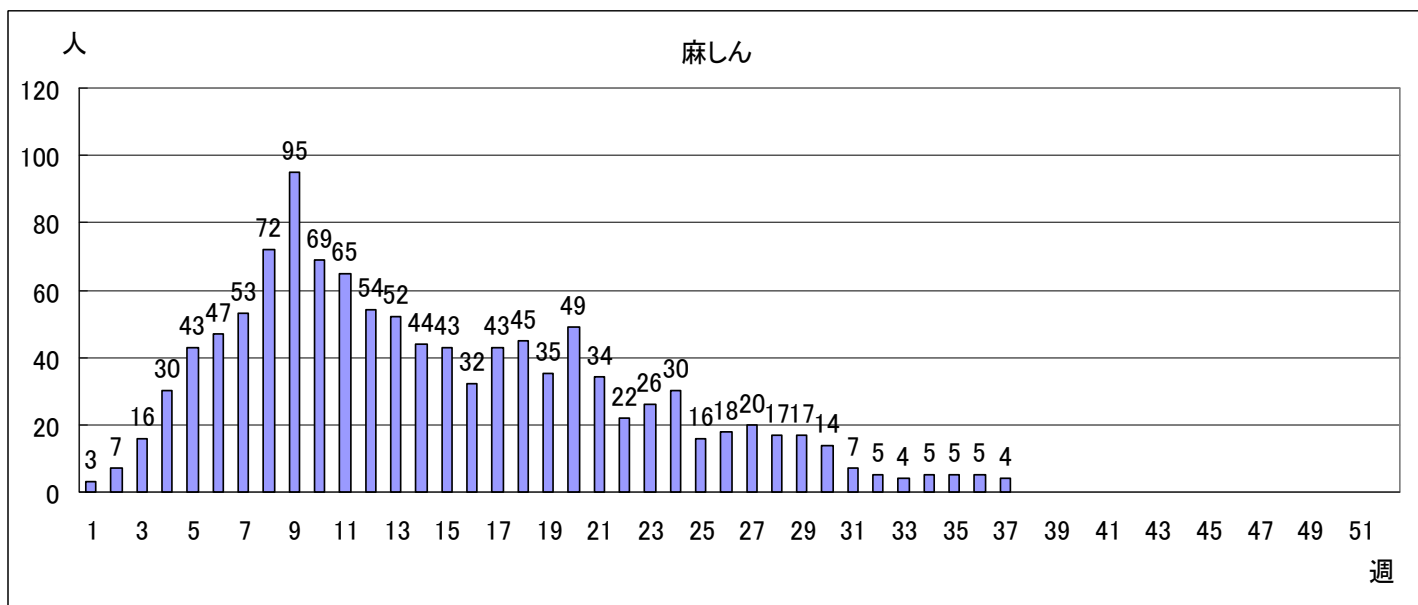


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年37週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/23	敗血症	1M	髄液	エンテロウイルス	遺伝子
8/27	手足口病	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/28	ヘルパンギーナ 突発性発しん	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス	
8/28	好中球減少症	8	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/28	好中球減少症	8	糞便	アデノウイルス	
8/29	感染性胃腸炎	3	糞便	アデノウイルス エンテロウイルス	
8/29	手足口病	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/29	急性細気管支炎	11M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
8/29	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/30	Opsoclonus-Polymyoclonia Syndrome(眼振、小脳失調)	1	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
8/30	感染性胃腸炎	1	糞便	ライノウイルス	
9/1	感染性胃腸炎	1	糞便	アデノウイルス	
9/1	咽頭結膜熱	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
9/1	感染性胃腸炎	1	糞便	エンテロウイルス	
9/1	急性咽頭炎	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/1	発熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス3型	
9/2	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス ムンプスウイルス	
9/2	感染性腸炎	記載無し	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/3	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス	遺伝子
9/4	多形紅斑	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
9/4	扁桃腺炎	7	咽頭拭い液	EBウイルス エンテロウイルス	
9/4	発熱 (EBウイルス感染疑い)	4	咽頭拭い液	EBウイルス	
9/4	急性上気道炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
9/4	発熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス3型	
9/5	扁桃腺炎	10	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス EBウイルス	
9/5	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
ウイルス	アデノウイルス	5	3	7	2	2	11	14	9
	ライノウイルス		3	2		1	1	2	3
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	18	16	25	22	10	8	19	10
	単純ヘルペスウイルス	1		1	1				
	水痘・帯状疱疹ウイルス	2							
	ヘルペスウイルス6/7	6	8	5	3		8	3	2
	EBウイルス	1	4	4	2	2		2	3
	サイトメガロウイルス	1	1		3	2	1	1	4
	ムンプスウイルス	1	2	2	3	2		2	1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19	1		2					
	RSウイルス			1		1	1	1	
	ノロウイルス						2		
	ロタウイルス		1	1	1		1		
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
デングウイルス			2						
その他のウイルス	6	4	1	6		2			
細菌	カンピロバクター								1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌			1	1				
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	2			3	3		1	
	その他の細菌	7	1	2	1	4	1		
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年29週～36週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	3	91	36	38	59	11	8	7	13	14	2	29	15	4		3	197	
ウイルス	アデノウイルス	1	11	1	5	1	8	2	1	2		3	4				14	
	ライノウイルス		3	1	1		1			2		2					2	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス		28	10	11	9	5		12	9		11	4					29
	単純ヘルペスウイルス				1	1			1									
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													2				
	ヘルペスウイルス6/7		5	1					3	1		7						18
	EBウイルス		4	1							1		3					9
	サイトメガロウイルス		2						1			3						7
	ムンプスウイルス					3							8					2
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											2					1	
	RSウイルス			4														
	ノロウイルス				2													
	ロタウイルス				4													
	インフルエンザウイルスAH1																	
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
デングウイルス					1												1	
その他のウイルス		10	4	2		1						1					1	
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌				2													
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		2					7										
その他の細菌		14															2	
その他の病原体																		